

# 地域みらい図ワークショップ

—地域の未来をみんなの手で—

～鎌倉市大船地区①(大船中学校区)レポート～



実施日程：令和7年（2025年）7月5日（土） 場所：鎌倉芸術館第1会議室 参加者：14名

## 主催

鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会



## ワークショップのねらい

地域には、子育て、高齢者の見守り、障害のある子どもや大人のサポート、移動の不便さ、近所づきあいの変化、地域行事の継承など、さまざまなニーズがあります。こうした「くらしの課題」は、市だけで解決するのではなく、住民同士の支え合いや公的な制度・支援とも連携しながら、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

そこでワークショップでは、いろいろな立場の人が「この地区で、これからどんなふうに暮らしたいか」から出発し、数年後のまちの様子を具体的に描きました。住民の関わり方の選択肢が広がり、役割を無理なく分かち合える地域づくりにつながることを、ねらいとしました。

地域の見守りや行事の運営は、一部の人に役割が集中しやすく、「このままだと続けるのが大変」という声もあり、地域の課題として「担い手不足」が語られがちです。

一方で、「担い手不足」を強く打ち出すと、地域への参加が責任や負担を伴うものとして受け止められ、新しく関わる人にとってハードルが高くなることがあります。

そのため今回は、役割の話から入るのではなく、地域で大切にしたい暮らしのイメージや、一人ひとりの思いを語り合うことを大切にしました。

## 実施内容

当日は、次の2つのステップで進めました。

- ・「いま」と「これから」の意見交換（困りごと・大事にしたいことの共有）
- ・地域みらい図づくり（架空の地図に、大船地区①（大船中学校区）のどこかをイメージしながら、場所・人の動き・そこで交わされる会話・うまれる関わりなどを、イラストや文字で描いてみる）

地域の課題は抽象的なことも多いため、いまの暮らしを出発点に、数年後の地域で見たい景色や場面を描くことで、「どんな地域を目指したいか」「そのために何が大切か」を、共有しました。

## 大船地区①（大船中学校区）で描く「未来の風景」（地域みらい図より）



※紙面の都合で、地域みらい図は代表例のみ掲載しています。どのグループからも大切な意見をいただきました。いただいた内容は別途取りまとめ、今後の検討に活かしていきます。



## 大船地区①（大船中学校区）で描く「未来の風景」（地域みらい図より）

### ○未来の風景①：お囃子をきっかけに、人のつながりと地域の場が育まれる

- ・お囃子の練習や本番を通じて、地域の人が自然に集まり、顔の見える関係が広がる。
- ・子どもから大人まで世代を超えて関われることで、地域に入るきっかけや役割が生まれる。
- ・伝統行事を支えるつながりが、地域の交流の場や、ゆるやかな見守りにもつながる。

### ○未来の風景②：身近な場所を使って、子どもをきっかけに交流が生まれる

- ・マンション敷地内やポケットパークなどの身近な場所で、小学生が花植えや水やりに関わる。
- ・そうした日常的な活動を通じて、子ども同士だけでなく、大人とのつながりも生まれる。
- ・身近な場所が、地域と関わる入口として活かされる。



### ○未来の風景③：誰もが少し立ち寄り、過ごせる場が地域の中にある

- ・テレワークなどで地域にいる時間が増えた人も、ふと外に出て地域とゆるやかにつながる。
- ・食事や水分補給、ひなたぼっこができるような、少し休んだり過ごしたりできる場が身近にある。
- ・高齢者や障害のある人も含め、誰もが無理なく外に出て過ごせることが、安心や見守りにもつながる。



## 大船地区①（大船中学校区）の様子

問 地域福祉の活動を促進するために必要なことは何だと思いますか。（○は5つまで）

区分	回答者数	参加でも気軽に活動できる内容の活動	定間参加しやすい場所の設置	仕事・学校・家庭と両立できるような内容の活動	自分の特技やスキルを活かすやす動	地域住民と気軽交流することができる	活動場所を使いやすくする	新情報に発信する	公式ウェブサイトでSNSをこまめに発信する	チラシやパンフレットを配布し、情報提供する
全体	1,521人	47.8%	40.7%	34.3%	16.4%	27.4%	18.5%	20.4%	20.4%	
大船地域A	208人	47.6%	39.9%	35.6%	16.8%	31.3%	20.2%	19.2%	18.3%	

資料：鎌倉市の地域福祉に関するアンケート調査（アンケート調査より一部抜粋）

## メッセージ

### 【市】

ワークショップやアンケートで見えてきたことをもとに、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに活かしていきます。これからも地区ごとに対話の場を続けます。一人でも、途中からでも、話すのが得意でなくても大丈夫です。ぜひ、気軽にご参加ください。

### 【鎌倉市社会福祉協議会】

市社協は、地区の活動や身近な相談の場に日常的に関わっています。住民の皆さんのアイデアが無理なく地域住民の主体的な取組につながるよう、地区社協や地域のみなさまとともに進めていきます。

### 【川上富雄先生（鎌倉市や市社協の計画づくりに長く関わってきた大学教授）】

地域づくりに、正解は一つではありません。だからこそ、いろいろな立場の声を集め、未来の暮らしを具体的に描くことに意味があります。こうした話し合いが、これからの地域づくりにつながることを期待しています。

### 【連絡先】

鎌倉市健康福祉部福祉政策課 地域福祉担当

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

〒248-0012 鎌倉市御成町 20-21

TEL 0467-23-3000（代表）

TEL 0467-23-1075

